

体 験 的 共 同 体 論

一 燈 園 の 巻

①一日目  
 13:50 光泉林着 受付  
 14:30 案内、説明  
 17:00 夕食(ミソ汁、メシ、采)  
 18:00 夜課(礼堂にて正座)  
 18:30 貴重品あずかり等、続いて講話  
 19:35 笹原仁太郎氏(燈影学園長)「六万行願について」  
 ※けんかをしなさい(自分が悪いのではないか?)  
 無一文で路頭に立つ  
 人の為に奉任する↓返ってくる  
 自分たち若い者だけでない↓  
 郷に入っては郷に従え  
 規律に従う、道は却下にある  
 修業下である。  
 無理をしないでやる、無になろうとしない下無になる  
 我を無くす↓帰四礼、天地の恩行願式、王雲三唱、行願とは便所掃除をするのだ。  
 ※D社、K社の会社から半強制的にやらされている者がいる(親の心、子知らず)  
 ※暗い、蛍光灯が少ない  
 ②二日目  
 5:30 起床、床上げ、掃除  
 6:00 食事、汁(あけ)、ツケモノONL、飯がうまいというより必死で食う  
 朝課(礼堂にて)  
 六万行願説明及行願式  
 (やれるかなあ?)  
 8:00 出発(京都市内)  
 9:00  
 10:30 5軒廻って3軒行願

1 軒目 病院「よろしいです」  
 2 「朝しました」「いいんです」  
 3 「結構です」  
 4 「よごれてますけど」実行  
 5 「おはあさん」  
 6 「奥茶」留守、黙ってやる  
 7 「おはあさん」  
 8 「木工所」迷惑そうな顔してたが、やる、時間かせぎ  
 9 ※バケツ、雑布(2)、タワシのみな  
 の下不衛生を感じた。  
 10 ハの人近くの間がぞろぞろやって不思議だろと。ハッヒ着て  
 11 だいたい歩いて足がクタクタになる  
 12 皆それぞれやって来たような顔をしてる。御苦労様ハ—イッ!!  
 ③三日目  
 12:15 昼食(やさしいの蒸物)、汁、ツケモノ、麦六割の飯、  
 ※カツクリ腹減って食べた  
 13 食べた。麦飯五ハイ  
 13:00 お話(作務について)  
 ※疲れたのか居眠り  
 13:30 作務(竹やぶの下草刈り)  
 15:30 ※かなり単純労働  
 16:00 夕食前風呂→居眠り  
 17:00 夕食、タイズ煮、ツケモノ、卵汁  
 18:00 夜のお勤め(三〇分)  
 19:00 講話  
 講師→丹羽孝三氏  
 信者は誤りを罪を知った人  
 最高の生活と思って生活する。  
 飯の心配をするな、しない  
 時が一番楽しい  
 生きる為に食い、食う為に  
 生きるな  
 何もいらないという生活

私達女が生きることを考える時、まず人間らしく生きたいと願う。そしてそこで気付くこと、人間とはMANであって、男のそばめ付属物としてしか存在できないWOMANは女である事。そして私がその女である事。人間らしく生きたいから、自分が女であるという事を自覚すべきだ。もう、男に生まれなかったなんて言わない。でも、分かってる事、社会が歴史が決めた女らしさ、女のらしさ、女のイヤラシサという物が、私の中に多分にあるという事。状況が人間に及ぼす力は恐ろしいと感じる。自分という物を考える時、なぜ今自分がこうなのか、なぜ女は男の付属物になっているのか、なぜ家族があるのか、なぜ女は絶えず妊娠の危険にさらされているのか、私の中の音が次々に大きくなって行くのです。私はしっかりと生きていきたい。大人らしく、ほんかなりたくな。私は叫べる人間になりたい。怒るべき時に怒れる人間に、そして、やさしい人間になりたい。女として、人間としての可能性を追求する為に、闘いを開始すべき時が来ていると感じます。その為の強さが欲しいのです。自分の中に。

編集後記(例の四畳半で)  
 正月キャンプ、百人委、例会と人数、話合の点はかなりの動きをさせている。混トンはしているが萌芽としての混沌—でありたいのだ。それから郵送料現金切手でカンパして下さった人にお礼を去ります。郵便料が上れば牛渡しになってもやるつもりだ

東京都荒川区西尾久4-10-5 しがね荘「る」号  
 塩田ひで子方、GRUPPE 流  
 ONNA...ONNA